

山陽学園大学

地域マネジメント学部ニュース2021-02 号

1年生、新型コロナに配慮しながら地域で学習 表町と操明学区で地域実践 I・II

表町と後樂園周辺の店を比較

表町を調べた学生レポートの一端を紹介します。3班は表町商店街と後樂園周辺を調べ比較しました。



文章と写真は岡田雅梨さんのレポートから掲載しました。

「表町商店街のお店は若者向けのお店が少ないのではないかと・・・」
「白線と白いコーンがありますが気になって調



べてみると、これは『テラス営業』と言って国土交通省がコロナの影響を受ける飲食店を支援するために道路の一部を利用して店を営業ができるようにするという取り組みだそうです。」



「後樂園内にあるお店は商店街のお店とは違い、年齢層の低い人から高い人まで利

用する事が出来るお店が多くありました。お土産屋さんや和菓子や抹茶を食べることができるお店など様々でした」



他の班からは表町を高松や広島の商店街を比較する等、今までにない切り口のレポートが出ました。

放課後児童クラブを見学(11/5)



寺尾連合町内会副会長のご案内でつくしクラブを見学しました。学生はクラブの市営化に注目しました。



岡山ふれあいセンターでは施設見学をさせていただきました。学生達はふれあい公社の役割や他都市の施設と比較するレポートを書き上げました。

岡南大橋から操明学区を展望(12/10)



岡南大橋からは操明学区が一望できます。予想以上の川幅です。内水や避難のレポートが書けました。

山陽学園大学

地域マネジメント学部ニュース2021-02号

2年生和気クラスは和気町で学修し、試案を作成 新型コロナ2波と3波の谷間の11月に現地を訪問(地域実践Ⅲ・Ⅳ)

前期はテレビ会議で和気町と結び



テレビ会議システムで、6/24は佐伯区と、7/8は和気駅前と結び、地域の4人の方々から説明を受け、質問をしました。学生は自宅から質問しました。

11/6,コロナ2波と3波の間に現地へ 佐伯区では農業とアグリビジネスを



佐伯区長の片岡さんと、元IT産業のビジネスマンで大阪から移住し野菜の栽培・販売をされている長井さんに農地を案内いただき、説明を受けました。

岡山県産ピオーネを加工し全国へ



和気町に「ある館」の全国メーカー谷尾食糧工業を訪問。岡山県産ピオーネシロップ漬けパックの生産が注文に追い付かないとのこと。岡山県産は強い！

和気駅前にテレビでも評判のパン屋



前商工会長の天藤さんに和気駅前と駅南の商業地を案内いただきました。駅前商業地で評判のパン屋さんのオーナーに新規開店のお話を伺いました。

学期末レポートとして試案を作成

高田彩恵さんのレポートを抜粋して掲載します。



岡山県地域課題解決型起業支援事業 学生試案 和気町佐伯地区観光・農業体験プログラム

(1)事業内容

和気町佐伯地区での観光バスツアー、農業体験プログラムを行う。町外、県外からの観光者を対象に、和気地域の名所の観光バスツアー

・佐伯地区で農業体験(白ネギ、なす、ピオーネなど)を行い、収穫した食材、地域の食材を使い、サエスタ西側公園でバーベキュー

(3)提供するサービスの対価として得られる収益の内容及び金額(想定概算金額):観光ツアー約2500円、農業体験・バーベキュー約3000円、宿泊約5000円